

# 令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
臨床実習1						
学科・年度	学年	学期	担当教員名		実務経験	
柔道整復学科・夜間部	1年	通年	伊藤重雄(敬心接骨院実習) 嶋田佳典(外部接骨院実習)			
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数	
専門分野	柔道整復実技		演習	1	45	
科目概要						
臨床実習としての心構え、臨床現場で必要となる知識・技術の増進、履修科目の知識との関連性、接骨院運営に関する知識、患者とのコミュニケーション能力について理解し、自ら考え行動できるようにするための科目である。 附属接骨院及び外部接骨院にて見学型実習を行い、将来の活躍の場をイメージしてもらいたい。						
目標						
臨床現場見学により、必要な知識・技術・態度を把握、理解し、目的をもって行動することができる。職業理解を深め、今まで想像していた職業内容の差異がないか知ることができる。						
一般目標(GIO)						
1. 実習目標を立てることができる。 2. 実習中、周りに迷惑をかけずに行動することができる。 3. 実習中、率先して挨拶や質問をすることができる。 4. 実習後、レポートをまとめた際の課題発見を見つけることができる。 5. 実習後、自らの将来像を考えたことができる。						
履修に必要な予備知識や技能						
態度・マナー(挨拶、身だしなみ、コミュニケーション)						
教科書・参考書						
『柔道整復学-理論編』、『骨格固定学』、『解剖学』 『柔道整復師のための問診(コミュニケーション)ハンドブック』等						
受講上の注意						
実習では指定の白衣・サンダルを着用しよう。 欠席は認められていません。実習時間まで出席しなければ認定されませんので、健康管理に気を付けてください。とくに外部実習では実習先に事前にお知らせください。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (予習クイズ)	レポート 実習レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他 実習評価
評価割合(%)						N
本講は原則、全てのプログラムに出席し、上記評価項目それぞれ以上の評価を得ることで認定(N)となります。						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回						
第2回						
第3回						
第4回						
第5回						
第6回						
第7回						
第8回						
第9回						
第10回						
第11回						
第12回						
第13回						
第14回						
第15回						
第16回						
第17回						
第18回						
第19回	附属敬心接骨院 内部実習					
第20回						
第21回						
第22回					・指定白衣 ・指定サンダル ・ポートフォリオ ・メモ帳 ・筆記用具 など	
第23回						
第24回						
第25回						
第26回						
第27回						
第28回						
第29回						
第30回						
第31回						
第32回						
第33回						
第34回						
第35回						
第36回						
第37回						
第38回						
第39回						
第40回						
第41回	外部 接骨院実習					
第42回						
第43回						
第44回						
第45回						
実務経験と本講義との関連について						
メールアドレス						
伊藤重雄 e.ito@nibonkan.ac.jp 嶋田佳典 kamaeda@nibonkan.ac.jp						